

## 2020年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月11日

上場会社名 株式会社 物語コーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 3097 URL <http://www.monogatari.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝宮 良之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 財務・成長戦略 担当 (氏名) 津寺 毅 TEL 0532-63-8001  
 定時株主総会開催予定日 2020年9月24日 配当支払開始予定日 2020年9月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年9月24日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年6月期の連結業績（2019年7月1日～2020年6月30日）

#### （1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	57,960	△1.6	3,033	△22.8	3,028	△35.3	456	△84.4
2019年6月期	58,924	13.0	3,933	17.1	4,686	21.2	2,938	23.1

（注）包括利益 2020年6月期 447百万円（△84.5%） 2019年6月期 2,898百万円（21.6%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	75.85	75.60	2.6	8.5	5.2
2019年6月期	488.33	486.57	17.9	15.0	6.6

（参考）持分法投資損益 2020年6月期 ー百万円 2019年6月期 ー百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	38,422	17,493	45.3	2,888.25
2019年6月期	32,735	17,681	53.7	2,922.78

（参考）自己資本 2020年6月期 17,406百万円 2019年6月期 17,593百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	2,826	△4,870	5,687	9,888
2019年6月期	5,803	△4,753	△206	6,260

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年6月期	—	45.00	—	45.00	90.00	541	18.4	3.3
2020年6月期	—	55.00	—	40.00	95.00	572	125.2	3.3
2021年6月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00		25.8	

### 3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,475	3.0	1,794	△1.0	2,121	17.8	1,144	11.0	190.07
通期	69,106	19.2	3,960	30.5	4,300	41.9	2,327	409.4	386.44

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期	6,027,622株	2019年6月期	6,020,382株
② 期末自己株式数	2020年6月期	968株	2019年6月期	881株
③ 期中平均株式数	2020年6月期	6,021,674株	2019年6月期	6,017,386株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年6月期の個別業績（2019年7月1日～2020年6月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	55,871	△0.0	3,088	△16.2	3,112	△30.3	908	△69.6
2019年6月期	55,871	12.7	3,689	17.1	4,472	21.7	2,990	37.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期	150.89	150.39
2019年6月期	496.91	495.12

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	38,567	17,841	46.0	2,946.00
2019年6月期	32,137	17,506	54.2	2,896.02

(参考) 自己資本 2020年6月期 17,754百万円 2019年6月期 17,432百万円

2. 2021年6月期の個別業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	31,316	3.7	2,047	10.2	1,070	△7.0	177.80
通期	66,582	19.1	4,150	33.3	2,177	139.5	361.54

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2020年8月19日（水）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当期における経済環境は、国内においては企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続いておりました。しかしながら、年明け以降の新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、経済活動が大幅に落ち込み、先行き不透明な状況が続いております。一方、海外に目を向けても、米中貿易摩擦の激化による不安定な政治動向、中国の景気減速懸念等による景気下方リスクが懸念されるなか、新型コロナウイルス感染症は急速に世界的な広がりを見せ、景気後退が深刻化しております。

外食業界におきましては、原材料価格の高止まりや慢性的な人手不足を背景とした人件費の上昇に加え、地震や台風などの自然災害による売上高への影響により厳しい経営環境が続いているなか、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多くの店舗が休業や営業時間の短縮など営業活動を控えた結果、過去に例をみないほど経営環境は厳しいものとなりました。さらに緊急事態宣言解除後に感染拡大防止策を実施しながら多くの店舗が営業を再開したものの、外食自粛等の影響により極めて厳しい状況が続いております。

このような環境下においても、当社グループでは、郊外ロードサイドにある好立地への積極的な出店を進めました。また、既存店舗の内外装の変更、新メニュー開発、スマートフォン向け販促アプリを導入し、新規顧客の獲得と常顧客化に取り組むなど店舗の収益改善に向けた施策を進めるとともに、『きゃべとんラーメン』『熟成焼肉肉源』『牛たん大好き 焼肉はっぴい』を始めとする新業態開発・育成も進めてまいりました。さらに人財の採用や教育面の強化、海外事業の強化等、世代交代と業務執行体制の一層の強化を目的とした機構改革を実施し、中長期的な成長の実現に向けた基盤づくりに引き続き取り組んでまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施した直営店の休業（4月7日から5月10日）および営業時間短縮などが業績に与えた影響は大きく、国内既存店（注）の売上高は、直営店においては前期比9.0%減、フランチャイズ店においては前期比4.8%減となりました。また、当連結会計年度において新型コロナウイルス感染症の感染拡大による特別損失1,219,344千円を計上しております。

店舗展開につきましては、国内において直営出店34店舗、退店3店舗、フランチャイズ出店9店舗、退店9店舗、海外において出店2店舗、退店8店舗の出退店の結果、当連結会計年度末における当社グループ店舗数は540店舗（直営308店、フランチャイズ221店、海外11店）となりました（後掲表1）。また、「物語（上海）企業管理有限公司」において店舗閉鎖損失256,475千円を計上しております。

以上の結果により、売上高は57,960,592千円（前期比1.6%減）、営業利益3,033,589千円（前期比22.8%減）、経常利益3,028,501千円（前期比35.3%減）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は456,765千円（前期比84.4%減）となりました。

（注）国内既存店とは、18カ月以上開店している国内の店舗を対象としております。

当連結会計年度におけるセグメント別の概況については、当社グループの事業は単一セグメントでありますので、その概況を部門別に示すと次のとおりであります。

#### ①焼肉部門

当連結会計年度中において、『焼肉きんぐ』は17店舗の出店（直営12店、フランチャイズ5店）を実施し、『熟成焼肉 肉源』は1店舗の出店（直営1店）を実施しました。これにより、焼肉部門の当連結会計年度末の店舗数は252店舗（直営153店、フランチャイズ99店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は30,088,479千円（前期比0.0%増）となりました。

#### ②ラーメン部門

当連結会計年度中において、『丸源ラーメン』は13店舗の出店（直営11店、フランチャイズ2店）を実施し、『きゃべとんラーメン』は1店舗の出店（直営1店）を実施しました。これにより、ラーメン部門の当連結会計年度末の店舗数は163店舗（直営72店、フランチャイズ91店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は8,433,225千円（前期比10.8%増）となりました。

#### ③お好み焼部門

お好み焼部門の当連結会計年度末の店舗数は31店舗（直営16店、フランチャイズ15店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は1,754,785千円（前期比29.7%減）となりました。

#### ④ゆず庵部門

当連結会計年度中において、『寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵』は10店舗の出店（直営8店、フランチャイズ2店）を実施しました。これにより、ゆず庵部門の当連結会計年度末の店舗数は78店舗（直営62店、フランチャイズ16店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は10,518,175千円（前期比0.8%減）となりました。

#### ⑤専門店部門

当連結会計年度中において、新業態『牛たん大好き 焼肉はっぴい』は1店舗の出店（直営1店）を実施しました。これにより、専門店部門の当連結会計年度末の店舗数は5店舗（直営5店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は876,875千円（前期比14.4%減）となりました。

⑥フランチャイズ部門

主にフランチャイズ加盟店舗からの売上ロイヤルティ・加盟金・業務受託料等であります。当連結会計年度中においてフランチャイズ9店舗の出店を実施しました。これにより、フランチャイズ部門の当連結会計年度末の店舗数は221店舗となりました。

以上の結果により、売上高は4,196,875千円（前期比3.6%増）となりました。

⑦その他部門

主に連結子会社である「物語（上海）企業管理有限公司」による取り組みであります。当連結会計年度中に2店舗の出店を実施しました。これにより、その他部門の当連結会計年度末の店舗数は11店舗となりました。

以上の結果により、売上高は2,092,174千円（31.5%減）となりました。

表1 「部門別店舗数の状況」

(単位：店)

	直営 (国内)	F C (国内)	海外	2020年6月末 店舗数
焼肉部門	153	99	—	252
ラーメン部門	72	91	—	163
お好み焼部門	16	15	—	31
ゆず庵部門	62	16	—	78
専門店部門	5	—	—	5
その他部門	—	—	11	11
合計	308	221	11	540

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末と比べて4,133,736千円増加し、13,064,816千円となりました。これは、現金及び預金が3,627,981千円、売掛金が304,656千円増加したこと等が主な要因であります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は、前連結会計年度末と比べて1,552,830千円増加し、25,357,470千円となりました。これは、設備投資により有形固定資産が1,148,257千円、新規出店用地の契約により差入保証金が329,540千円増加したこと等が主な要因であります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末と比べて5,711,381千円増加し、13,829,412千円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が5,529,352千円増加したこと等が主な要因であります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は、前連結会計年度末と比べて163,809千円増加し、7,099,755千円となりました。これは、長期借入金が129,774千円増加したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末と比べて188,623千円減少し、17,493,119千円となりました。これは、利益剰余金が145,286千円減少したこと等が主な要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比較し3,627,981千円増加し9,888,090千円（前期比57.9%増）となりました。

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、営業活動の結果得られた資金は2,826,966千円（前期比51.2%減）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が1,176,917千円あったこと及び減価償却費が2,426,400千円あったこと等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、投資活動の結果使用した資金は4,870,872千円（前期比2.4%増）となりました。これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出が4,411,416千円あったこと等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、財務活動の結果獲得した資金は5,687,603千円（前期は206,498千円の使用）となりました。これは主に、運転資金及び設備投資のための長期借入金の調達7,000,000千円あった一方で、配当金602,830千円の支払、借入金の返済が1,340,874千円あったこと等を反映したものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期
自己資本比率	51.2%	52.4%	51.0%	53.7%	45.3%
時価ベースの自己資本比率	138.2%	136.4%	228.2%	157.9%	131.5%
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率	1.5年	1.2年	1.0年	1.0年	4.4年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	112.1倍	157.5倍	224.8倍	267.7倍	147.5倍

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式総数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による消費者の外食自粛傾向、人手不足を背景とした人件費の上昇など、厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような状況の中においても、当社は『焼肉きんぐ』『丸源ラーメン』『寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵』の主力ブランドを中心に引き続き積極的に出店を行うとともに、既存店舗のリニューアルと商品やサービスなどの向上を中心とした継続的なフォーマット改善を推進してまいります。また、新業態の開発や育成にも積極的に取り組み、今後の持続的な成長の実現を支える経営基盤の強化を図るため、諸施策に取り組んでまいります。

次期の新規出店に関しましては、焼肉部門22店舗（うちフランチャイズ6店舗）、ラーメン部門15店舗（うちフランチャイズ4店舗）、ゆず庵部門9店舗（うちフランチャイズ1店舗）、専門店部門6店舗、その他部門4店舗の計56店舗を予定しております。

以上の状況から、通期連結業績の見通しにつきましては、売上高69,106百万円（前期比19.2%増）、営業利益3,960百万円（前期比30.5%増）、経常利益4,300百万円（前期比41.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2,327百万円（前期比409.4%増）を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、収益実績に弾力的に対応かつ安定的な配当を継続することを基本としつつ、将来の事業展開と財務体質の強化に備えるために必要な内部留保資金の充実も念頭に置き、財政状況、収益状況及び配当性向等を総合的に勘案して配当政策を決定することを方針としております。

また、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。これらの剰余金の配当政策の決定機関は、期末配当は株主総会、中間配当は取締役会であります。

当事業年度の配当につきましては、上記方針に基づき、中間配当は1株当たり55円を実施しました。また、期末配当は1株当たり40円を予定しております。この結果、当事業年度の連結決算による配当性向は、125.2%となる予定であります。

次期の配当につきましても、引き続き上記方針に基づき実施する予定であり、年間配当金として1株当たり100円（中間配当50円、期末配当50円）を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,260,109	9,888,090
売掛金	1,131,283	1,435,940
商品及び製品	323,173	348,939
原材料及び貯蔵品	70,446	78,378
その他	1,146,432	1,313,994
貸倒引当金	△364	△527
流動資産合計	8,931,080	13,064,816
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,136,182	17,342,516
機械装置及び運搬具(純額)	194,208	148,866
工具、器具及び備品(純額)	1,776,419	1,678,248
土地	446,864	446,864
リース資産(純額)	38,577	28,217
建設仮勘定	285,322	381,118
有形固定資産合計	18,877,574	20,025,831
無形固定資産		
投資その他の資産	296,284	315,812
投資有価証券	7,497	7,959
繰延税金資産	593,358	666,359
差入保証金	3,853,672	4,183,212
その他	176,253	158,295
投資その他の資産合計	4,630,781	5,015,826
固定資産合計	23,804,640	25,357,470
資産合計	32,735,721	38,422,287



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,055,687	2,129,594
短期借入金	—	700,000
1年内返済予定の長期借入金	1,287,294	6,816,646
未払法人税等	697,226	335,558
株主優待引当金	22,783	29,184
ポイント引当金	43,703	27,687
その他	4,011,336	3,790,742
流動負債合計	8,118,031	13,829,412
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	3,870,870	4,000,644
退職給付に係る負債	329,159	366,770
資産除去債務	454,293	510,607
その他	1,281,623	1,221,733
固定負債合計	6,935,946	7,099,755
負債合計	15,053,977	20,929,167
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,719,616	2,727,313
資本剰余金	2,584,788	2,541,304
利益剰余金	12,340,480	12,195,194
自己株式	△1,899	△2,494
株主資本合計	17,642,986	17,461,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,101	3,669
為替換算調整勘定	△50,064	△60,319
退職給付に係る調整累計額	△2,299	1,851
その他の包括利益累計額合計	△49,262	△54,797
新株予約権	73,709	86,601
非支配株主持分	14,310	—
純資産合計	17,681,743	17,493,119
負債純資産合計	32,735,721	38,422,287

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高	58,924,277	57,960,592
売上原価	20,311,238	19,961,438
売上総利益	38,613,038	37,999,154
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	14,783,014	15,204,461
退職給付費用	66,688	70,392
賃借料	4,148,149	4,049,989
減価償却費	2,421,313	2,360,941
株主優待引当金繰入額	22,783	29,184
ポイント引当金繰入額	43,703	△16,015
その他	13,194,381	13,266,611
販売費及び一般管理費合計	34,680,034	34,965,564
営業利益	3,933,004	3,033,589
営業外収益		
受取利息及び配当金	16,742	15,727
受取賃貸料	12,960	11,709
協賛金収入	781,328	21,931
その他	42,029	47,881
営業外収益合計	853,060	97,250
営業外費用		
支払利息	21,672	19,165
為替差損	46,677	39,661
賃貸収入原価	9,428	9,333
その他	21,463	34,176
営業外費用合計	99,240	102,337
経常利益	4,686,824	3,028,501
特別損失		
固定資産除却損	112,664	63,810
減損損失	227,216	273,135
店舗閉鎖損失	126,600	295,294
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	1,219,344
特別損失合計	466,481	1,851,583
税金等調整前当期純利益	4,220,343	1,176,917
法人税、住民税及び事業税	1,221,856	800,068
法人税等調整額	57,259	△76,540
法人税等合計	1,279,116	723,528
当期純利益	2,941,226	453,389
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	2,755	△3,375
親会社株主に帰属する当期純利益	2,938,471	456,765

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
当期純利益	2,941,226	453,389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,755	568
為替換算調整勘定	△47,034	△10,328
退職給付に係る調整額	5,686	4,151
その他の包括利益合計	△43,103	△5,608
包括利益	2,898,123	447,780
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,896,183	451,229
非支配株主に係る包括利益	1,940	△3,448

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,711,136	2,576,308	9,913,330	△1,293	15,199,482
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	8,479	8,479			16,959
剰余金の配当			△511,321		△511,321
親会社株主に帰属する当期純利益			2,938,471		2,938,471
自己株式の取得				△605	△605
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	8,479	8,479	2,427,149	△605	2,443,503
当期末残高	2,719,616	2,584,788	12,340,480	△1,899	17,642,986

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	4,857	△3,845	△7,986	△6,974	62,983	12,369	15,267,862
当期変動額							
新株の発行 (新株予約権の行使)				—			16,959
剰余金の配当				—			△511,321
親会社株主に帰属する当期純利益				—			2,938,471
自己株式の取得				—			△605
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動				—			—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△1,755	△46,218	5,686	△42,287	10,725	1,940	△29,621
当期変動額合計	△1,755	△46,218	5,686	△42,287	10,725	1,940	2,413,881
当期末残高	3,101	△50,064	△2,299	△49,262	73,709	14,310	17,681,743

当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,719,616	2,584,788	12,340,480	△1,899	17,642,986
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	7,696	7,696			15,392
剰余金の配当			△602,051		△602,051
親会社株主に帰属する当期純利益			456,765		456,765
自己株式の取得				△595	△595
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△51,180			△51,180
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	7,696	△43,484	△145,286	△595	△181,669
当期末残高	2,727,313	2,541,304	12,195,194	△2,494	17,461,316

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	3,101	△50,064	△2,299	△49,262	73,709	14,310	17,681,743
当期変動額							
新株の発行 (新株予約権の行使)				—			15,392
剰余金の配当				—			△602,051
親会社株主に帰属する当期純利益				—			456,765
自己株式の取得				—			△595
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動				—			△51,180
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	568	△10,255	4,151	△5,535	12,891	△14,310	△6,954
当期変動額合計	568	△10,255	4,151	△5,535	12,891	△14,310	△188,623
当期末残高	3,669	△60,319	1,851	△54,797	86,601	—	17,493,119

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	4,220,343	1,176,917
減価償却費	2,464,452	2,426,400
減損損失	227,216	273,135
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	60	163
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	1,059	6,401
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	43,703	△16,015
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	32,592	43,549
受取利息及び受取配当金	△16,742	△15,727
支払利息	21,672	19,165
為替差損益 (△は益)	46,493	39,430
固定資産除却損	106,255	40,724
店舗閉鎖損失	98,986	235,298
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	1,219,344
売上債権の増減額 (△は増加)	△219,491	△305,493
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△30,891	△34,286
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△54,557	△156,675
仕入債務の増減額 (△は減少)	247,575	77,319
未払消費税等の増減額 (△は減少)	92,626	240,911
未払費用の増減額 (△は減少)	165,574	△102,913
その他の負債の増減額 (△は減少)	△200,929	△195,346
預り保証金の増減額 (△は減少)	77,554	22,389
その他	30,382	36,198
小計	7,353,935	5,030,890
利息及び配当金の受取額	1,890	1,938
新型コロナウイルス感染症関連損失の支払額	—	△998,823
利息の支払額	△21,441	△19,331
法人税等の支払額	△1,530,608	△1,187,707
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,803,776	2,826,966
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,455,731	△4,411,416
無形固定資産の取得による支出	△69,432	△99,517
差入保証金の差入による支出	△362,434	△532,529
差入保証金の回収による収入	148,573	181,357
その他	△14,894	△8,767
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,753,919	△4,870,872
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	700,000
長期借入れによる収入	1,600,000	7,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,287,278	△1,340,874
株式の発行による収入	4,311	5,254
配当金の支払額	△512,523	△602,830
非支配持分からの子会社持分取得による支出	—	△62,042
その他	△11,008	△11,904
財務活動によるキャッシュ・フロー	△206,498	5,687,603
現金及び現金同等物に係る換算差額	△74,476	△15,716
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	768,881	3,627,981
現金及び現金同等物の期首残高	5,491,227	6,260,109
現金及び現金同等物の期末残高	6,260,109	9,888,090

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日) 及び当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

当社グループは、飲食店事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり純資産額	2,922円78銭	2,888円25銭
1株当たり当期純利益	488円33銭	75円85銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	486円57銭	75円60銭

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
純資産の部の合計額 (千円)	17,681,743	17,493,119
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	88,019	86,601
(うち新株予約権 (千円))	(73,709)	(86,601)
(うち非支配株主持分 (千円))	(14,310)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	17,593,724	17,406,518
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	6,019,501	6,026,654

(注) 2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	2,938,471	456,765
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	2,938,471	456,765
期中平均株式数 (株)	6,017,386	6,021,674
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	21,729	20,058
(うち新株予約権 (株))	(21,729)	(20,058)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。